



T O K Y O R O P P O N G I R O T A R Y C L U B

東京六本木ロータリークラブ



『率先しよう』
~Lead the Way~
国際ロータリークラブ会長

発行日 2007年3月5日

No. 26

W E E K L Y R E P O R T

『世界を見据えて進もう』
~Observe the world and proceed~
東京六本木ロータリークラブ会長



平成19年2月5日

卓話『ロータリークラブと日本のNGO』
社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン理事・事務局長
渋谷 弘延 様

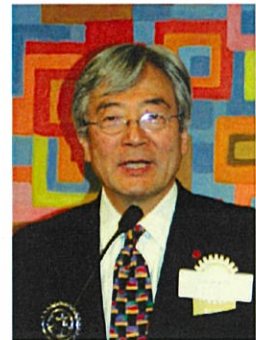


今日はCSRがらみの最近の動き、それから私なりに世界中浪人生活をして感じた、日本もこれからやるべき社会貢献活動があるのではないかとこの話をしたいと思います。

日本の社会活動に関する寄付、慈善は、欧米と違って、江戸時代に栄えた庶民社会の中で、神社とかの共同の場所を町内の商人たちが金を集めて年度末に掃除したりとか、そこから始まる一つの伝統があると思うんです。欧米、特にアメリカでは開拓時代、企業が地域社会に寄与したのは、責任感だけでなく必要性があったわけですね。典型的なアメリカの地域社会は、先ず移民が荒地を耕し教会や学校を作る。産業が寄与するのは地域社会に対する責任と同時に、そういう産業が栄えるためには人材が必要なわけで、それをわざわざニューヨークに行って雇ってくるわけにはいかない。そういう流れも多少比較文化論的に考えればあるんじゃないか。第三セクターは政府ではできない問題に対応するために出て来たわけで、そういう意味で社会体制が非常に発達した日本にはそういうニーズがなかった。NGO、NPOはどちらかというと環境運動から出てきた。この環境問題こそ今までなかった体制が必要で、同時に人道活動、紛争地の子どもたちのために何かしなきゃいけないというのと同じ流れだと思います。

日本のNGOの方々には理想に燃えて若く、慈善の精神は素晴らしいんですが、率直な話、欧米で長い間やっている組織と比べると力が足りない。この仕事をして一番感じるのは、日本は何か問題があると必ず官僚が一所懸命勉強してどういう体制を作ったらいいかという形でやるわけですけれど、こういう活動は官の力だけでは発達

しない。もう一つ足りないのは、そういう活動を日本の方々の生活の中に溶け込ませるコミュニケーション。一般の方々に世界には貧しい子が沢山いるよと伝える努力は私共がもう少しすべきだと認識しております。



企業は金を儲け税金を払い人を雇って社会貢献すればいいという時代から地域社会に対して存在意義を立証する、そういう流れの中で最近では環境だけでなく雇用や人権問題を総括的に見るISO26000という動きがあります。日本の寄付市場は大体1200億ですが関東大震災の時には2~3千億くらいあった。ということは日本にはまだそういう可能性がある。それを我々がどうやっていくかというのが私共のチャレンジですけど、有名なビルゲイツ財団、総財産が3兆円近くあって、それだけで日本の財団全部の2倍になる。日本は第三セクターの育成とそれに対する投資が先進国では遅れているのは事実で、今後こういうことに関して新しい考え方にに基づき、国際協力、特に開発途上国に日本の技術力、経済力、ノウハウを使ってチャレンジする。それも官だけではなく民のベースで、一番鍵になる企業の方々に協力いただいて出来るようにしたい。その話をさせていただきました。

「ロータリー財団への2007年2月末までの寄付累計は37名、410,000円。ご協力有難う御座いました。まだの方は強制ではありませんが自発のご協力をお願いします。例会のニコニコBOXの横で受付けています。ロータリー財団委員長 杉本 潤」



■ 本日のプログラム

平成19年3月5日
卓話 『きものの魅力・魔力・威力』
Kimono Lifestyle コンサルタント
創造学園大学客員教授
津田 和壽澄 様

国内外の企業でのビジネス体験を経て、「ひとりの時間」の大切さを実感。大学院にて孤独の効用を研究。現在大学にてソリテュード・ゼミ(積極的孤独学)を開講。積極的孤独を一つの生き方として提案し執筆、講演、TV出演などの多方面で活躍。

ひとりの時間を発酵させる過程にて着物に出会い、ひとりでも多くの方にきものを日常で楽しんで欲しいと願い自らも365日のふだんきもの生活を送る。粋な江戸好みの色合わせや合理的な着方には定評がある。

『「着たい!」私のふだんきもの』(祥伝社)、『NHK Weekend Japanology 英語で学ぶ日本のこと Kimono着物』(MCPress)『孤独力』(講談社)他著書多数。<http://www.fudankimono.com>

■ 次回のプログラム

平成19年3月12日
卓話 『最新宇宙論に学ぶ
-人生の歩き方-』
鈴鹿短期大学学長
理学博士
佐治 晴夫 様

■ ニコニコBOX情報

工藤 一枝さん

皆様のご協力で無事にダンスパーティーが終わりました。

小西 恭子さん

ローターアクト年次大会登録へ、19名の方々に御協力いただきました。ありがとうございました。

安間 百合子さん

去る2月11日遷宮1400年の小国神社での建国祭で、数十年振りに、紀元節の歌を感慨深く歌ってまいりました。

岡田 達雄さん

今夜からケニアとタンザニアに出張のため、例会を2回サボります。

宇佐見 千嘉さん

久しぶりのロータリーの例会です。楽しみにいたしております。

大橋寛治さん

江口克彦様 ようこそお越しいただき大歓迎です。卓話の日もよろしくお申し上げます。

杉本 潤さん

2月は妻の誕生日です。

三田 大介さん

先々週は出張と重なってしまい、欠席させていただきました。

小嶋 禮子さん

春の気配を感じる頃となりました。今後もよろしくお祈りいたします。

森 佳子さん

大竹先生今日のお話を楽しみにしております。

石上 和敬さん

久しぶりの出席で申し訳ありません。今年も宜しくお願い致します。

山口 富久さん

昨日は家内の誕生日でした。

門田 真子さん

2月13日のチャリティダンスパーティーに皆様の暖かいお力を結集していただき盛会裡に楽しく終わることができました。ありがとうございました。

小島 篤さん

新会員情報セミナーへの出席ご苦労様でした。

スズキ・エドワードさん

門田さん、工藤さん SHALL WE DANCE 同好会のみなさん、はじめてのパーティーの大成功おめでとうございます!

安井 悦子さん

風邪をひいて「声悪い」をしております。

浅田 豊久さん

土曜日は久しぶりに六本木クリーンアップで良い汗でした。

山本 良樹さん

東京マラソン成功ですね。

渡邊 滋さん

春のきざしがようやく見えて来たようです。梅一輪 いちりんほどのあたたかさ

服部嵐雲

2月19日 合計 82,000円
累計 2,206,000円

東京六本木ロータリークラブ

会長 水島 裕

幹事 篠塚 博

会報・広報 安井 悦子
委員 長

会報・広報 渡辺 美智子
副委員 長

事務局) 〒106-0032東京都港区六本木6-10-3グランドハイアット東京内 TEL:03-4333-8773 URL:<http://www.tokyoroppongi-rc.jp/>